

「子ども読書の日」

明後日、4月23日は「子ども読書の日」です。これは、平成13年12月「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立し、その第10条により定められたものです。また、4月23日から5月12日の期間を「こどもの読書週間」の期間として、全国的に読書を推進するためのイベント等が開催されています。例年、枚方市立の図書館でも、市民の読書意欲を喚起するために、読書ノートが配布されたり、絵本の読み聞かせ、ペープサート、パネルシアター、紙芝居、お話を語る会など、多くのイベントが予定されていました。（しかしながら、各施設では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、企画されていたイベント等が中止となる可能性があります。）

殿山第二小学校でも、週に一度、木曜日を朝読書の時間（8:30～8:45）とし、全校生で取り組みをすすめています。今後も図書室や教室の言語環境を整える作業を、公立図書館や外部人材、教職員、図書委員会活動と連携しながらすすめていきたいと考えています。

子どもたちには、“読まされる”読書ではなく、自ら『読みたい』『知りたい』『考えたい』と思う読書をしてほしいと思っています。

さて、読書効果については、次の6点の効果があるとされています。

- 1) 語彙・言語能力が高まります。
- 2) 集中力が身につきます。
- 3) 想像力や感受性が豊かになります。
- 4) 人の気持ちが分かるようになります。
- 5) 物事に対する興味関心が強くなります。
- 6) 学習意欲が沸きたちます。

また、独立行政法人国立青少年教育振興機構が、高等学校2年生・中学校2年生（総勢約21,000人）

を対象に調査した「読書活動と意識や能力の関係を分析した調査」の結果から、次のような傾向が見られるということです。

子どもの頃（就学前、小学校、中学校時代）の読書活動が豊富であるほど……

- * 朝食を「毎日食べる」と回答した割合が高い。
- * 「なりたい職業、やってみたい仕事がある」と回答した割合が高い。



学校では子どもたちに小学校生活6年間を通して様々な本との出会いをつくれるように、読書環境を整えていきたいと思えます。

読書を通して、一人ひとりの子どもたちが自分の将来に夢と希望を持って、あきらめずに努力できる人になってほしいと願っています。

ゴールデンウィーク中に素敵な本との出会いがあるといいですね。

学校と家庭が協力し合い

“本好きのこどもたち”をはぐくんでいきましょう！

